様式第 5

2020 年 4 月 1 日
社会福祉法人　海光会

2019 年度　主な事業報告の概要

社会福祉事業

1.総評

今期の財務状況は減収減益である。
収入は、10 月から消費税増税に伴う介護保険報酬単価の改正、特定処遇改善加算の取得により報酬としてはプラス改正となった。しかし、各事業所での稼働率が低迷し昨年対比▲1.7％　約 880 万円減少する結果となった。
社会構造の変化により人材獲得が年々困難な状況になっている。今期は、働く環境や業務改善などの整備に資金を充て、利用者・職員双方にとって快適な環境となるよう取り組んだ 1 年であった。これらの支出については積立金を活用し最終的な収支には影響が出ないようにしている。本業である介護保険サービスは年々収支が出にくい構造になっているが、経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報の効果的な活用により、生産性を高めサービスに付加価値をつけていくことに今後も注力していく。
　世界では新型コロナウイルス感染が依然として拡大を続け収まらない状況にある。当施設でも感染症予防対策を徹底して取り組んでいる。我々としてはどのような状況になっても事業を継続していく使命がある。できる限りの想定と準備をしながら地域の皆様の安全安心を確保するため事業継続にむけて取り組んでいく。

２．法人運営の報告

2－①評議員会・理事会
理事会を 4 回・評議員会を 1 回開催し、全ての議案が賛成多数により承認された。

【理事会】
第 1 回　2019 年 5 月 24 日
第 2 回　2019 年 6 月 21 日
第 3 回　2019 年 11 月 19 日
第 4 回　2020 年 3 月 19 日
（※第 4 回目は新型コロナウイルス感染予防のため書面決議）

【評議員会】
第 1 回　2019 年 6 月 21 日

2-②施設整備資金返済（福祉医療機構）
2019 年度で完済

2-③　監査
海光会・・・　監事監査　　2019 年 5 月 9 日
静岡県・・・実地指導監査　2019 年 11 月 13 日
熱海市・・・法人指導監査　実施なし

３．事業活動の分析（2018 年　対　2019 年）

①サービス事業活動収益 （収入）

510,021 千円（前年対比 98.3%　▲8,794　千円）

今期は、各事業所で稼働率が低下し減収となった。

10 月より消費税増税に伴う報酬単価のプラス改定、特定処遇改善加算の取得等により、収入としては増額を見込んでいた。しかし、在宅系の事業所（特に短期入所）での 4 稼働率低迷と新型コロナウイルス感染の影響による利用自粛も重なり、結果として前年を 8,794 千円下回った。

②事業活動支出

人件費　前年比　99.1　%（ ▲3,009 千円）

介護職処遇改善加算手当、定期昇給、賞与 4.7 ヵ月（介護職以外は最大 5.0 ヵ月）を継続。介護職員には新たに特定処遇改善加算手当を冬期賞与と期末賞与で支給した。昨年度から期末賞与に業績評価を導入し、チームとして目標達成する風土を醸成している。

事業費　前年比　90.3　%（ ▲7,451 千円）

昨年度はご利用者に関わる福祉機器を集中して導入したため、今期と比較すると約 10%減少している。設備の更新により光熱費が 151 万円削減できている。

事務費　前年比　109.5　%（6,856　千円）

今期は 3 階居室及び共有部分の壁紙張替や水回りの洗面器の更新、オフィス什器の入替、来年度の設備大規模修繕に関わる設計委託料などにより事務費が増加した。

モノが変わることでご利用者へのサービスの質向上につながるよう費用対効果を検証しながら導入を進めていく。

サービス活動増減差額　▲9,588 千円

稼働率低下や想定外の新型コロナウイルス感染の影響も受け昨年を大きく下回り、収支差額は▲3,942 千円で昨年対比▲69.8%となった。このような時だからこそ、本当に必要なコト・モノを見極め集中していくべき思考の転換を図りながら業務遂行していく。

利用者の軽減額を全額負担（2017 年度より）

※2016 年度まで一部熱海市負担、2017 年度より海光園が全額負担

2019 年度に対象となった事業所は 2 事業所であった。

①　特養　②短期入所

対象人数　：　延べ 46 名（年間）

合計利用料負担減免額　：　455,240 円

この制度は、利用者の個人負担する料金が軽減された額の一割強を熱海市、残りは施設側が負担する制度である。平成 29 年度より社会福祉充実計画の一つとして、当法人において全額負担している。

公益事業　　なし

収益事業　　なし

以上